

1. 科目名 (単位数)	言語学概論 (2単位)	3. 科目番号	EJJP3141
2. 授業担当教員	阿部 裕子		
4. 授業形態	講義・演習・討論・発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	言語には日本語も英語もあるが、どの言語にも共通したなんらかの性質がある。この講座は言語体系、言語能力、言語運用などといった言語学の分野でよく使われる用語を紹介したうえで、音、単語、文、意味、文化について考察を進め、ことばの普遍性と多様性を学習していく。		
8. 学習目標	1. どの言語にも応用できる言語学の基礎知識について説明できるようになる。 2. 言語学の基礎知識を日本語(や母国語)に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになる。		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	<p>【宿題】事前学習と事後学習を参考に予習・復習を行う。</p> <p>・予習：指定された教科書のページを読み、不明な点を確認しておく。</p> <p>・復習：復習用ワークシートを活用して授業で学んだことを復習し、次回の確認テストに備える。(毎回授業のはじめに、前時で学んだことに関する復習テストを行う)</p> <p>【プレゼンテーション】言語学の基礎知識を日本語や母語に当てはめ自分なりに解釈し応用して考察する。テーマは自分で選び、最終授業で発表する。</p> <p>【レポート】発表した内容に、質疑応答、相互評価コメントを加えて、最終レポートとしてまとめる。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】原沢伊都夫著『入門言語学』スリーエーネットワーク、2017。</p> <p>【参考書】斎藤純男 著『言語学入門』三省堂、2010。 窪菌晴夫『よくわかる言語学』ミネルヴァ書房、2019</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1) 言語学の基礎知識について説明できるようになったか。</p> <p>2) 言語学の基礎知識を日本語(と母国語)に当てはめ、自分で用例を挙げながら解釈できるようになったか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <p>1 授業への参加態度 総合点の30%</p> <p>2 試験(小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30%</p> <p>3 提出課題(レポート等) 総合点の40%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	言語学という学問は、何をやっているのかがわかりにくい学問かもしれない。この授業では、言語学はといった言語の何を研究しているかという言語学の基礎知識を学ぶとともに、専門知識を日本語や母語に応用することに力を入れる。応用することによって、言語学の醍醐味が分かるので、ぜひ楽しく勉強していきたい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。 授業担当教員メールアドレス：hiabe@ed.tokyo-fukushi.ac.jp		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション(授業概要・学習方法・評価の方法)・言語学とは何か	事前学習	シラバスと教科書の目次を読んでおく。言語学とは何かについて考えておく。
		事後学習	学んだことを復習し、復習テストに備える。
第2回	第1章「言語学のはじまり」言語学の歴史、言語の特徴、言語の機能	事前学習	教科書 pp.2~3 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第3回	第2章「音声学①」：音声学の種類、音声の特徴：子音(調音点、調音法)	事前学習	教科書 pp.34~49 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第4回	第2章「音声学②」：音声の特徴：母音、超分節素(アクセント、イントネーション)	事前学習	教科書 pp.50~65 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第5回	第3章「音韻論」音素、条件異音、音素表記、母音の無声化	事前学習	教科書 pp.68~95 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第6回	第4章「形態論」形態素と異形態、語構成、日本語述語の活用、有標理論	事前学習	教科書 pp.98~122 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第7回	第5章「統語論」直接構成素(IC)分析、チョムスキーの言語理論	事前学習	教科書 pp.124~150 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第8回	第6章「意味論①」：成分分析、語の意味関係、句の意味(連語、慣用句)、文の意味	事前学習	教科書 pp.152~171 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第9回	第6章「意味論②」：語用論、コンテキスト、発話の構成要素、会話の条件	事前学習	教科書 pp.172~186 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。中間テストに備えて既習内容を復習しておく、
第10回	中間テスト・最終プレゼンテーションのテーマの確認	事前学習	既存内容を復習しておく。プレゼンテーション発表のテーマを検討する。
		事後学習	中間テストで間違えたところを復習する。プレゼンテーション発表の準備を進める。
第11回	第6章「意味論③」：言語、文化、思考、サピア・ウォーフの仮説	事前学習	教科書 pp.187~197 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。

第12回	第7章「認知言語学①」知識構造(スキーマ、カテゴリー化、フレーム、スクリプト)	事前学習	教科書 pp. 200～212 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第13回	第7章「認知言語学②」認知作用と言語、ゲシュタルト、比喻表現	事前学習	教科書 pp. 213～230 を熟読しておく。
		事後学習	復習用ワークシートの問題に取り組む。
第14回	プレゼンテーション発表 ①	事前学習	プレゼンテーションに向け、リハーサルを行う。
		事後学習	他の発表や自分の発表の質疑応答・コメントを参考にして最終レポートを作成する。
第15回	プレゼンテーション発表 ② 既習事項の総復習・質疑応答	事前学習	15回の授業で学んだことを復習し、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	期末試験に備えてこれまで学んだことを復習しておく。最終レポートを完成させる。
期末試験			